

すべてのアーチェリー関係者へ

新聞テレビの報道で既にご承知のことと存じますが、昨年4月の重大事故と同様の事故が、昨日、東京都内公共の練習場において発生してしまいました。昨年の事故以来、徹底した安全管理をお願いして参りましたが、1年後の事故発生は残念でなりません。

改めて、事故防止について、再度、強くお願いいたします。

- 1.弓具は、指導者の指示に従い、危険性を認識して取り扱う。
- 2.矢をつがえてない状態でも、弓を人に向けてはいけない。ましてや、矢をつがえた状態では、絶対に人に向けてはいけない。
- 3.競技会場でも、練習場でも、常に周囲に気を配り安全を確認してからプレーする。

今回の事故は、弓を始める人たちへの最初の指導事項で防止できたはずですが、それが、守られなかったことは残念でありませんが、再度アーチェリーを愛する方々にご注意をお願いいたします。

本連盟ホームページに「安全のために」と事故防止に向けて」を掲載しております。また、本連盟発行の「アーチェリー入門」第1ページに「安全のための知識」が掲載されています。

これらを、確実に実践してください。実践いただければ事故はおきません。皆様と共に、事故のない楽しいアーチェリーを実現してまいりましょう。ご協力をお願いいたします。

事故に遭われた高校生の日も早い回復をお祈りいたします。

平成21年11月5日

全日ア連総務第09-039号

(社)全日本アーチェリー連盟

専務理事 島田晴男